目次

1.はじめに 5
1.1. システム要件 6
1.2. パッケージ内容 7
1.3. 製品の外観 8
1.3.1. 正面図 8
1.3.2. 背面図 8
2.接続 9
2.1. ハード ディスクをオンにする 10
2.2. インタフェース ケーブルの接続 11
2.3. LaCie Setup Assistant の起動 12
2.4. LaCie hard disk MAX の取り外し 13
3.フォーマットとパーティション (オプション) 14
3.1. Windows をご使用の方 15
3.2. Mac をご使用の方 17
4.インタフェースとデータ転送について 18
4.1. USB 2.0 接続 18
4.2. FireWire 接続 18
4.3. eSATA 接続 19
4.4. データ転送 20
4.5. 新しいファームウェアのインストール 20
5.RAID 21
5.1. FAST (RAID 0) 21
5.2. SAFE (RAID 1) 22
5.3. RAID モードの変更 23
5.4. ディスクのパーティション 24
5.4.1. Windows をご使用の方 24
5.4.2. Mac をご使用の方 28
5.5. ディスクの取り外しと取り付け 29
6.トラブルシューティング 30
6.1. マニュアルの更新 30
6.2. ファン 30
6.3. LED インジケータ 31
6.4. ホスト接続のトラブルシューティング 32
7.カスタマ サポートへのお問い合わせ 33
7.1. Lacie テクニカル サポートの連絡先 34
8.保証について 35

■ ご注意 ■

日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。
LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバル
サイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り
扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承願います。

著作権

Copyright © 2010 LaCie.All rights reserved.電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows 7 、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本マニュアルに記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を保留します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

FCC Statement

本デバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

- 本デバイスは有害な電波障害の原因となってはならない。
- 本デバイスは誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記：本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- 販売代理店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

注意：メーカーの承認を受けずに本機器に修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本製品が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。Class B EN60950、EN55022 、EN55024

下記条件に関して：73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令

本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分するのは、ユーザーの責任です。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

安全衛生上の要件

- 本デバイスの保守作業は、有資格者のみが行えます。
- デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- デバイスを開けたり、分解、改造は行わないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、デバイスに金属物を挿入しないでください。デバイスには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート担当者に点検をご依頼ください。
- デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。デバイスの上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。

一般的な使用上の注意

- 当商品は、温度 5°C ～ 35°C、動作湿度 5 ～ 80% (結露なし)、保管湿度 10 ～ 90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度にはご利用しないでください。この温度範囲外で使用すると、デバイスが損傷したり、ケースが変形することがあります。また、デバイスを高温な熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置いても、デバイスが損傷する恐れがあります。また過熱の恐れがあるため、ハード ディスクを積み重ねないようお勧めします。
- 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ずデバイスのプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。
- デバイスをテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- デバイスをコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、デバイスの動作や機能の安定性に影響が及ぶことがあります。
- デバイスの上に重いものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。
- デバイスには、過剰な負荷をかけないでください。問題が生じた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

注意：FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

重要な情報：本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。例えば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブル ストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

重要な情報：1GB は 10億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 5 ～ 10% 減)。

1. はじめに

年以上に渡る卓越したデザインの経験を基に、LaCie では、機能をハイテクと融合するタイムレスな新しいラインのハード ディスクを作り上げました。この最新のハード ディスクは、特定アプリケーションを通じてお客様を強力にサポートする、パフォーマンス ベースのソリューションです。

LaCie hard disk MAX は、スピード重視のアプリケーションに理想的で、高まるデータのニーズにも十分応えます。安全性と安定性を兼ね備えた本製品は、コンピュータに空き領域を追加するのに最適です。ディスクを分割してデータの異なる部分に特定の領域（パーティション）を割り当てることも、そのまま分割せずに 1 つの大きなボリュームとして使用することも可能です。

特長

- シンプルで効率のよいデュアル ディスク ハード ディスク
- RAID：最大の容量/スピードまたはセキュリティを実現する FAST と SAFE
- 容量を増やせる USB 拡張スロット
- 総合的な付属ソフトウェア：フォーマットやバックアップも簡単

クイック リンク

トピックをクリックします：

- 接続
- フォーマットとパーティション (オプション)
- RAID

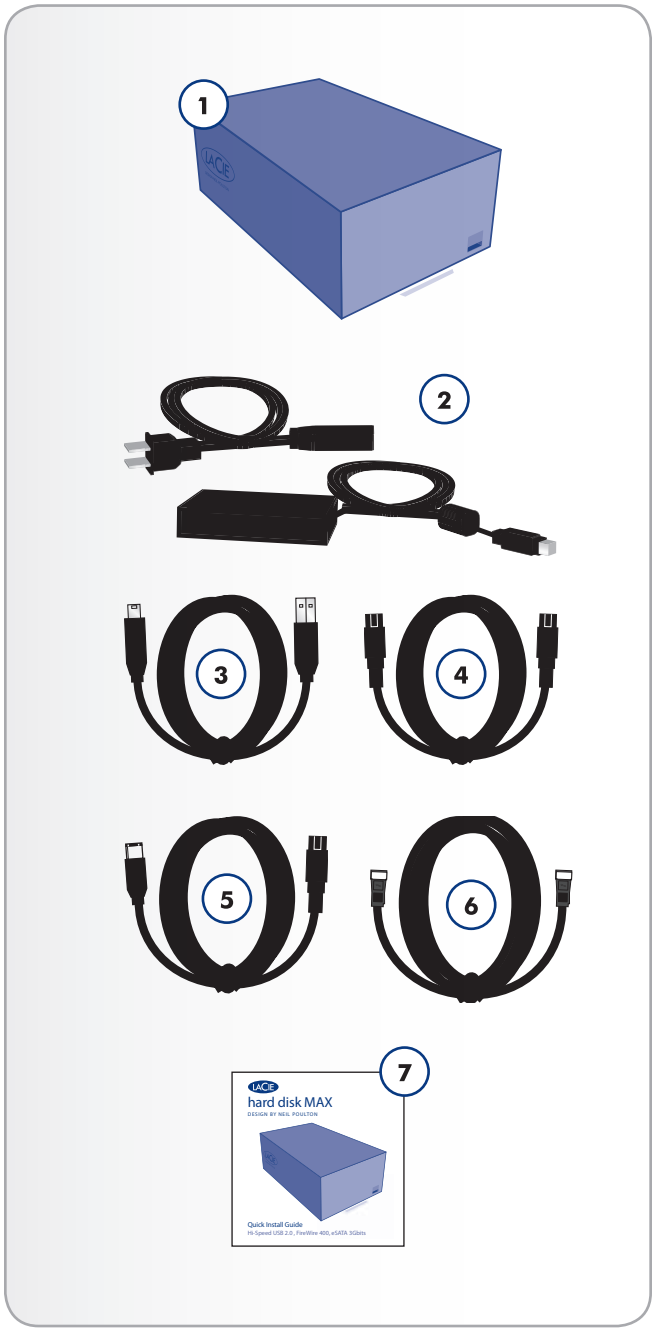
1.1. システム要件

LaCie　製品を正しく動作させるには、ご使用のシステムが一定の条件を満たしていることが必要です。　これらの条件のリストにつきましては、製品のパッケージをご覧になるか、または http://www.lacie.jp/raid/index.html の製品サポート web ページを参照してください。

1.2. パッケージ内容

LaCie hard disk MAX パッケージには、ディスクと以下の品目を含むアクセサリ ボックスが含まれています。

1. LaCie hard disk MAX, Design by Neil Poulton、RAID 機能用に 2 台のディスクが付属
2. 外部電源装置
3. USB 2.0
4. FireWire 800 (9-9 ピン) ケーブル
5. FireWire 400 から 800 (6-9 ピン) のアダプタ ケーブル
6. eSATA ケーブル
7. クイック インストール ガイド



LaCie ユーティリティおよびユーザー マニュアルはディスクに収録されており、LaCie Setup Assistant をインストールすると表示されます。詳しくは、「 2.3. LaCie Setup Assistant の起動」を参照してください。

重要な情報：購入時の梱包材は保管しておいてください。製品の修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。

1.3. 製品の外観

1.3.1. 正面図

1. USB 拡張ポート
2. 青色の LED ランプは、ハード ディスクの状態を表わします (青 = 通常、赤 = ディスク障害、点滅 = ディスク動作中)

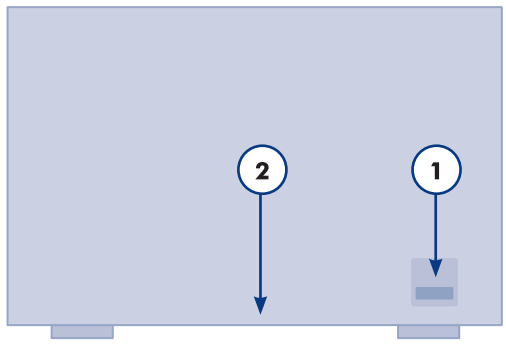


図 01

1.3.2. 背面図

1. オフ/オン電源スイッチ
2. 電源装置の接続
3. 下部ディスクのステータス LED
4. 上部ディスクのステータス LED
5. eSATA ポート
6. FireWire 800 港
7. USB 2.0 ポート
8. RAID 選択スイッチ

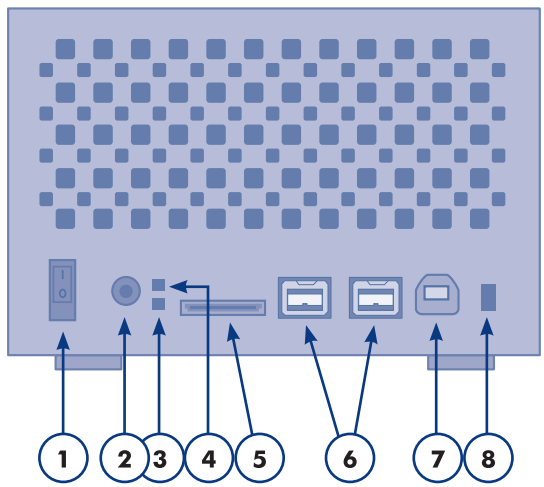


図 02

注意：過熱を防ぐため、LaCie hard disk MAX を換気のよい場所に設置し、コントローラ　チップ周辺に十分な気流を確保するようにしてください。また、換気ファンの動作が阻害されないようにしてください。付属のプラスチック製スタンドとラバー フィートを使って LaCie hard disk MAX を設置表面から持ち上げ、放熱効果を高めてください。

環境要件：

温度：5 – 35° C (41 – 95° F)

Operation Humidity:5 – 80%, non-condensing

STORAGE HUMIDITY:10 ～ 90%、結露なし

2. 接続

重要な情報：LaCie hard disk MAX のボリュームがお使いのコンピュータで正しくマウントされるように、設定手順に従ってください。

ステップ 1 — 2.1. ハード ディスクをオンにする

ステップ 2 — 2.2. インタフェース ケーブルの接続

ステップ 3 — 2.3. LaCie Setup Assistant の起動

2.1. ハード ディスクをオンにする

重要な情報：インタフェース　ケーブルを接続する前に電源を接続し、ボリュームが正しくコンピュータにマウントされるようにします。

1. 電源の電源ジャックを LaCie ハード ディスクの電 源コネクタに接続します (図 03)。
2. 2. アースを取ったコンセントに電源を差し込みま す。
3. 背面にある電源ボタンを押して、ハード　ディスクの電源を入れます。 を参照してください (図 04)。
4. ここで次のステップ、「 2.2. インタフェース ケーブルの接続」に進みます。

注意：本製品付属の専用　AC　アダプタのみを使用してください。他の LaCie 製品の電源装置や他のメーカーの電源装置は、使用しないでください。他の電力ケーブルや電源装置を使用すると、デバイスを損傷し、保証の対象外となる場合があります。本製品を移動するときは、必ず　AC　アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、製品が損傷し、保証の対象外となる場合があります。

技術面での注意：LaCie hard disk MAX は 100V ～ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用によりデバイスに損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証対象外となります。

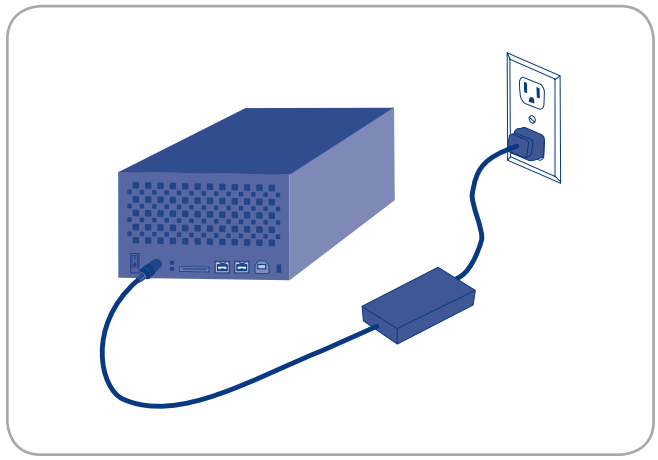


図 03

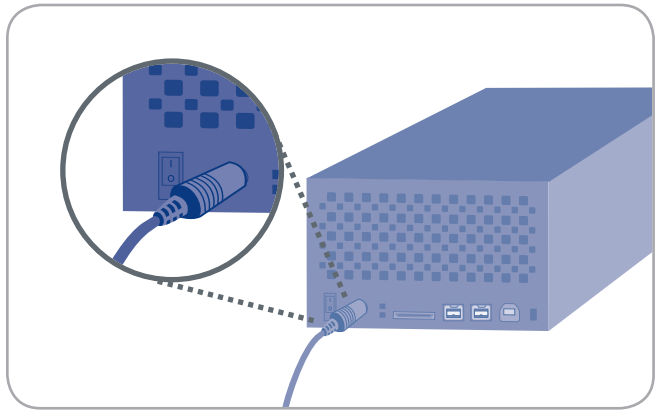


図 04

2.2. インタフェース ケーブルの接続

1. インタフェース ケーブル の小さい方の端をコンピュータの空き インタフェース ポートに取り付けます。
2. インタフェース ケーブルのもう一方の端を製品の背面にある インタフェース ポートに取り付けます (図 05)。
3. 数秒すると、ハード ディスクがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
4. 「2.3. LaCie Setup Assistant の起動」を参照してください。

技術面での注意： 2 つのインタフェースが同時に接続されている場合は、最初の接続が有効となり、2 番目に接続されたインタフェースは動作しません。

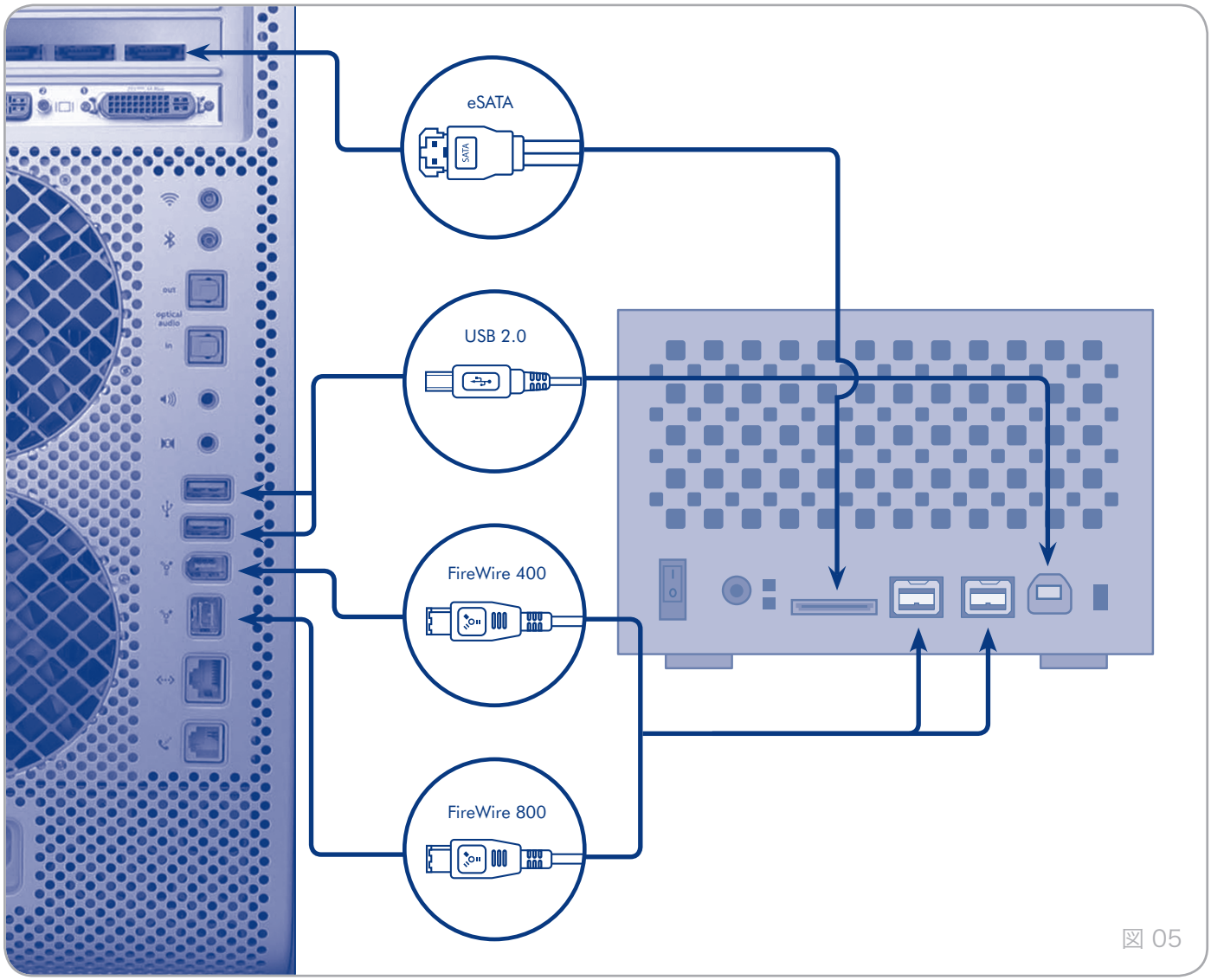


図 05

2.3. LaCie Setup Assistant の起動

ディスクを使用する前に、LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してディスクをフォーマットする必要があります。Setup Assistant の実行前に RAID モードの変更は行わないでください。

Setup Assistant は一度のみ実行してください。次のことが行われます：

- ニーズに従ってディスクを最適化
- マニュアルとユーティリティをディスクからコンピュータにコピー

重要な情報：ユーザー マニュアルおよびユーティリティをコンピュータの内部ハード ディスクまたはその他のメディアにコピーすることをお勧めします。

LaCie Setup Assistant を起動するには、次の手順に従います。

Windows をご使用の方： [マイ コンピュータ] フォルダにある LaCie ディスクのアイコンをダブルクリックした後、LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックします。

Mac をご使用の方： デスクトップに表示される LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックした後、LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックします。

LaCie Setup Assistant では、ユーザーのニーズに合わせて LaCie hard disk MAX を最適化する手順をガイドします。

重要な情報：LaCie Setup Assistant を起動しない場合、またフォーマットが開始した後で LaCie Setup Assistant を終了した場合は、ハード ディスクの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。ユーザー マニュアルやユーティリティもハード ディスクにコピーされませんので、次の LaCie Web サイトから自分でダウンロードする必要があります。www.lacie.jp

技術面での注意：LaCie Setup Assistant の使用により、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ プログラムで LaCie ディスクのフォーマットやパーティションができなくなるわけではありません。Setup Assistant を完了させた後、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ (Windows の場合はディスクの管理、Mac の場合はディスク ユーティリティ) を使ってハード ディスクを再フォーマットできます。詳しくは、「 3. フォーマットとパーティション (オプション)」を参照してください。

2.4. LaCie hard disk MAX の取り外し

外付け USB、FireWire 400、そして eSATA デバイスには「プラグ アンド プレイ」の接続性が備わっているため、コンピュータの実行中にハード ディスクを接続したり、取り外すことができます。ただし、故障を防ぐため、ハード ディスクを取り外すときには次の手順に従ってください。

Windows をご使用の方

1. 画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします。
2. このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで LaCie ハード ディスクをクリックします。
3. ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」 という (またはこれに類似した) メッセージが表示されます。以上で、ディスクを安全に取り外せます。

Mac をご使用の方

1. LaCie hard disk MAX ディスク アイコンをごみ箱にドラッグします。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。ディスクの形をしたアイコンで表される場合もあります。)
2. デスクトップからアイコンが消えたら、ディスクを取り外せます。

3. フォーマットとパーティション (オプション)

LaCie hard disk MAX を初めて使う場合は、LaCie Setup Assistant でニーズに合わせてフォーマットを行います。ニーズが変化した場合は、LaCie hard disk MAX を再フォーマットし、Windows、Mac、またはクロスプラットフォーム用に最適化できます。例えば、LaCie Setup Assistant を使用しハード ディスクを Mac 仕様にフォーマットした後で、Windows ユーザーと共有する必要が生じた場合、ハード ディスクをFAT 32 (MS-DOS) に再フォーマットできます。 ディスクを再フォーマットするには、このセクションの指示に従います。

重要な情報：再フォーマットを行う前に、ユーザー マニュアルとユーティリティをコンピュータにコピーしてください。.再フォーマットするとハード ディスクから全データが消去されます。保護するその他のデータ、あるいは継続して使用するその他のデータがある場合は、その情報をコンピュータにコピーした上で再フォーマットしてください。

フォーマットについて

ディスクをフォーマットすると、オペレーティング システムにより、ディスク上の管理情報の全消去、全セクタの信頼性を確認するためのディスクのテスト、不良セクタ (ひっかき傷などの物理的破損のあるセクタ) のマーク、後で情報の検索に使用する内部アドレス テーブルの作成が行われます。

パーティションについて

ハード ディスクをパーティションと呼ばれるセクションに分割することもできます。パーティションとは、ファイルやデータを保存するために作成される、ハード ディスクのストレージ容量のセクションです。例えば、ハード ディスク上に 3 つのパーティションを作成し、それぞれ、オフィス文書用、バックアップ用、マルチメディア ファイル用とすることができます。家庭やオフィスでハード ディスクを共有する場合は、ディスクを使用するユーザー毎にパーティションを作成できます。パーティションの作成はオプションです。

ファイル システム フォーマット

ファイル システムにはFAT 32、FAT 32 (MS-DOS)、Mac OS 拡張 (HFS+) の 3 つのカテゴリがあります。詳しくは、次の表を参照してください。

次の場合は NTFS を使用します。

ハード ディスクを Windows 7、Windows XP*、または Windows Vista でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS 10.3 以降では読み取り専用モードで対応しています。

次の場合は HFS+ を使用します。

ハード ディスクを Mac でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、HFS+ のほうが優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows OS に対応していません。

次の場合は FAT 32 (MS-DOS) を使用します。

...ハード ディスクを Windows と Mac 10.3 の両方で使用する、または Windows 7 と、Windows XP/Windows Vista 間でハード ディスクを共有する場合。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

*Windows XP 32-bit は、2TB を超えるボリュームに対応していません。Windows XP x64、Windows Server 2003 SP1 および Windows Vista Enterprise/Ultimate (32-bit および 64-bit) には対応していますが、2TB を超えたボリュームを作成するには、ディスクを GPT ファイル システムに変換することが必要です。このプロセスについては、3.1. Windows をご使用の方 で説明しています。

3.1. Windows をご使用の方

Windows 7、Windows XP、Windows Vista を実行しているコンピュータでは、次の 2 つの手順に従います。(1) ハード ディスクにシグネチャをインストールし、(2) ディスクをフォーマットします。これらのステップにより、ハード　ディスク上にあるものすべてが消去されます。

注意：この手順に従うと、ハード　ディスクから全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

技術面での注記:

Windows XP 32-bit:これらのオペレーティング システムでは、2TB より大きい単一ボリュームを認識しません。

Windows XP x64 および Windows Vista Enterprise/Ultimate (32-bit および 64-bit):これらのオペレーティング システムでは 2TB を超えたサイズのボリュームを認識しますが、2TB　を超えたパーティションを作成する前に、ディスクを GPT ファイル システムに変換することが必要です。

1. インタフェース ポートを介して、ハード ディスクをコンピュータに接続します。
2. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] ウィンドウから [ディスクの管理] を選択します ([ディスクの管理] は、[記憶域] グループの下にあります)。 図 06 を参照してください。
4. [ディスクの初期化と変換ウィザード] ウィンドウが表示されたら、[キャンセル]をクリックします。
5. システムにインストールされているハード ディスクが一覧表示されます。 アイコンで表わされたハード ディスクを探します。アイコンを右クリックし、[初期化] を選択します。
6. Windows XP x64 および Windows Vista Enterprise/Ultimate をご使用の方のみ:該当ディスクを右クリックして、**[GPT ディスクに変換]** を選択します。
7. [未割り当て]　と書かれた右側のボックスで、[新しいパーティション…]
8. [新しいパーティション　ウィザード]　の最初のページで、[次へ] をクリックします。 図 07を参照してください。

次のページに続く

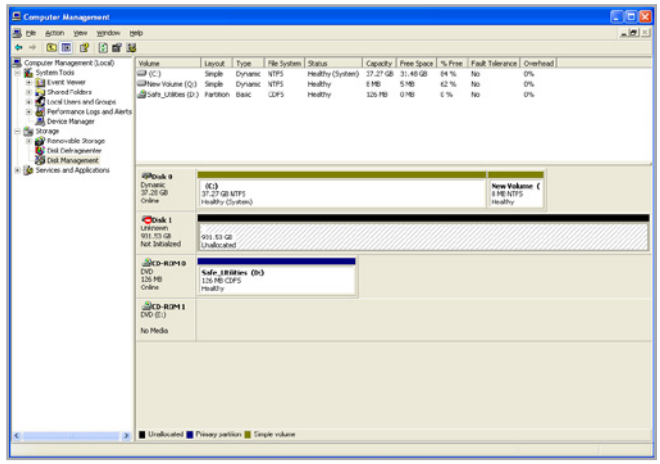


図 06

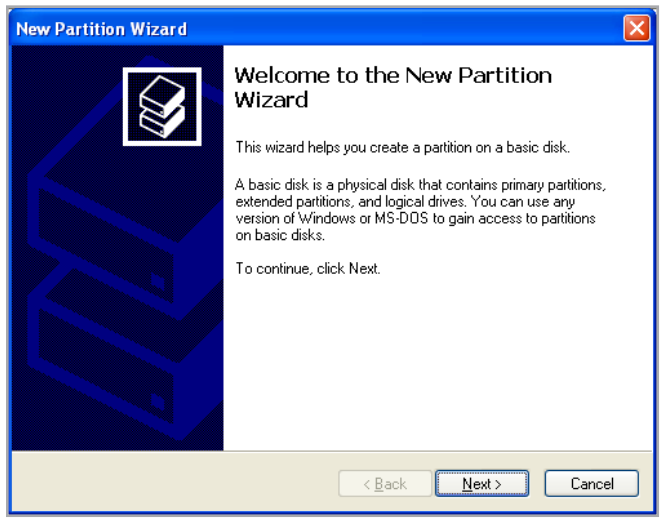


図 07

9. [次へ] をクリックします。
10. [次へ] をクリックします。
11. [次へ] をクリックします。
12. [次へ] をクリックします。
13. [パーティションのフォーマット] ウィンドウで、[クイック フォーマット] を選択します。[次へ] をクリックします (図 08)。

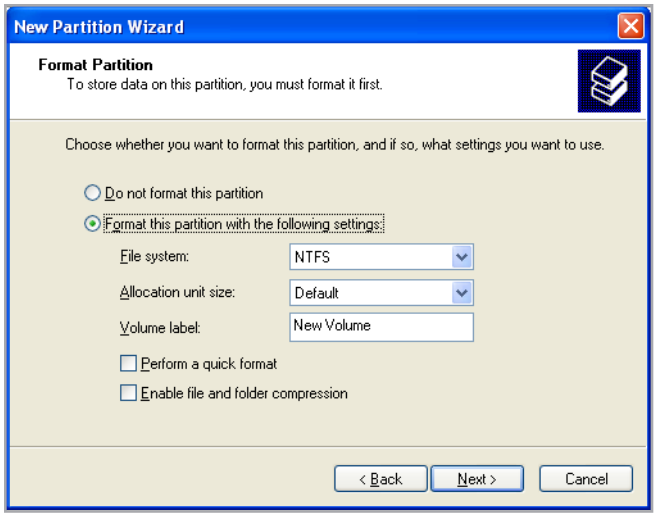


図 08

14. [完了] をクリックして、フォーマットを開始します。
15. Windows ディスク管理機能により、設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションが行われます (図 09)。ディスクが [マイ コンピュータ] に表示されると、使用準備が整います。

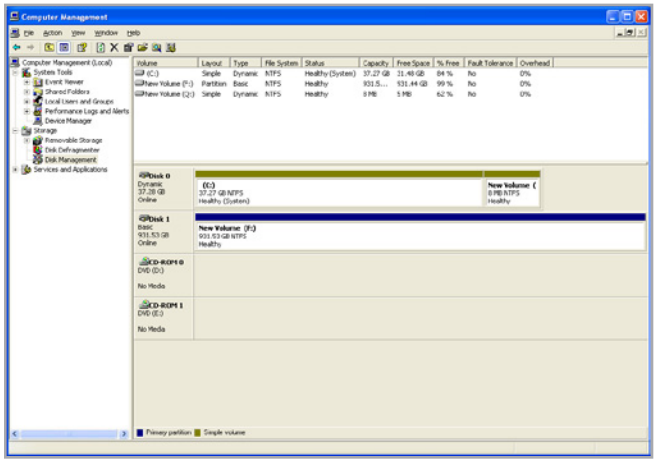


図 09

3.2. Mac をご使用の方

注意：この手順に従うと、ハード　ディスクから全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. ハード ディスクをコンピュータに接続し、ハード ディスクをオンにします。
2. Finder メニュー バーの[移動] メニューから[ユーティリティ] を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、[ディスク ユーティリティ] をダブル クリックします。
4. ディスク ユーティリティ ウィンドウが開きます。ウィンドウの左側にある利用可能なハード　ディスクのリストから [LaCie hard disk MAX] というラベルの付いたボリュームを選択します (図 10)。
5. [パーティション] タブをクリックします。
6. [ボリューム スキーム：]メニューでハード ディスクを分割するパーティションの数を選択します (Mac OS X では、最大 16 パーティションまで分割できるようになっています)。[ボリュームの方式：] 領域にあるパーティション間のスライド　バーを使用すれば、パーティションのサイズをカスタマイズできます。
7. [ボリューム情報] のセクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリューム フォーマットを選択します。
8. ボリュームのオプション設定が完了したら、[パーティション] をクリックします。警告メッセージが継続して表示される場合は、再度 [パーティション] をクリックします。
9. 設定に従ってハード　ディスクのフォーマットとパーティションが行われます。これでハード　ディスクの使用準備が整いました。

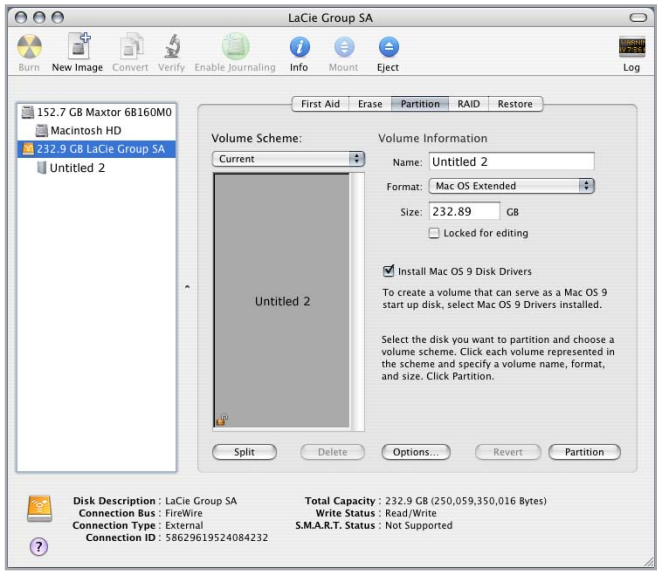


図 10

4. インタフェースとデータ転送について

4.1. USB 2.0 接続

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、この規格の最新の実装であり、ハード ディスク、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

USB ケーブル

Hi-Speed USB ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するため、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています (図 11)。 ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、デバイスのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。

図 11 – USB ケーブルの端

4.2. FireWire 接続

IEEE 1394 としても知られている FireWire 400 は、周辺機器とコンピュータを相互に接続するための高速シリアル入力/出力テクノロジーです。FireWire 800 は、新しい IEEE 1394b 規格を導入したものです。

FireWire 800 は、さらに高い帯域幅とデバイス間のケーブル接続距離拡張を提供します。FireWire 800 は、オーディオ、ビデオ、グラフィックなど、帯域重視のアプリケーションに最適です。

FireWire ケーブル

この LaCie ハード ディスクには、FireWire 800 (9-9 ピン) ケーブル (図 12) および、コンピュータの FireWire 400 ケーブルにディスクを接続できるようにする FireWire 400 から 800 (6-9 ピン) のアダプタ ケーブル (図 13) が付属しています。この場合は、ファイルの転送が FireWire 400 の速度に限られることをご了承ください。

図 12 – FireWire 800 ケーブルの両端子

図 13 – FireWire 400 - 800 ケーブルの両端子

4.3. eSATA 接続

LaCie Hard Disk は、最新 SATA テクノロジーを採用して最大 3G Bit/s の転送速度を実現します。SATA テクノロジ ーは当初、内部インタフェースとして開発され、コンピュ ータ内部の接続の性能を改善しました。 その後すぐに、eSATA (SATA の外付け規格) が開発され、PC 外部でシール ドケーブルを使えるようになりました。

eSATA テクノロジーは堅牢性と耐久性を高めるために開発され、eSATA コネクタには、その他の SATA コネクタで見 られるＬ字形のデザインはありません。 加えて、ガイド機 能は垂直オフセットとなっており、外付けアプリケーショ ンで非シールドの内部ケーブルが使用できないように、サ イズが縮小されています。

eSATA ケーブル

本製品には eSATA ケーブルが同梱されています (図 14)。

図 14 – eSATA ケーブルの両端子

4.4. データ転送

データ転送とは、タスクを完了するデータの流れで、通常ストレージからコンピュータの RAM へ、またはストレージデバイス間でのデータ移動に関するものです。データ転送中は、同じ USB 2.0 ポートを使用している他のアプリケーションを起動しないようお勧めします。OHCI (Open Host Controller Interface) 規格に準拠していない USB 2.0 コントローラを備えたコンピュータでは、異常が発生する恐れがあります。他のどのような構成においても、正常な動作を 100% 保証することはできません。

ハングアップが発生した場合は、次の手順に従います。

1. 電源が正しく接続されているかどうかを確認してください。
2. 電力の供給を確認し、アースの接続が正しく行われていることを確認します。
3. コンピュータの USB ケーブルを取り外します。30 秒待った後、再度接続します。

4.5. 新しいファームウェアのインストール

LaCie may periodically offer firmware updates for the hard disk MAX. Visit LaCie's Web site, www.lacie.jp, for the latest firmware update.手順については、LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

技術面での注意：コントローラ - これは、コンピュータが特定の周辺機器と通信したり、周辺機器を管理したりできるようにするコンポーネントまたは電子カード (この場合、「コントローラ カード」) です。外付けコントローラとは、PC 内部の空きスロット (PCI または PCMCIA など) のいずれかに装着される拡張カードで、CD-R/RW ドライブ、スキャナまたはプリンタといった周辺機器をコンピュータに接続できるようにするものです。コンピュータに USB コントローラ カードがない場合は、LaCie より外付けコントローラをお買い求めください。詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「7. カスタマ サポートへのお問い合わせ」を参照) にご連絡ください。

5. RAID

ここでは、アプリケーションに適切な RAID モードを選択するための指標について説明します。RAID モードの変更について詳しくは、「5.3. RAID モードの変更」を参照してください。

技術面での注意：使用可能な容量は、RAID モードによって異なります。

FAST (RAID 0) = 高転送速度でアクセス可能な合計容量の 100%

SAFE (RAID 1) = 50% の容量

5.1. FAST (RAID 0)

FAST (RAID 0、または一部の LaCie デバイスでは「スパン」とも呼ばれます) では、RAID 設定の中で最も高速なデータ転送および容量を提供します。RAID 0 では最低 2 台のディスクが必要で、各ディスクにデータのストライピングが行われます (図 15)。 各ディスクの使用可能な容量が合計され、1 つの論理ボリュームがコンピュータにマウントされます。

アレイの物理ディスクが 1 台故障すると、データの一部がすべてのディスクに書き込まれているため、すべてのディスクのデータがアクセス不能になります。

重要な情報：FAST モードでは、物理ディスクの 1 台に障害が発生すると、両方のディスクのデータがアクセス不能になります。

用途

RAID 0 は、最大限のスピードと容量を引き出したいユーザーに最適です。 非常に大きいファイルで作業を行っているビデオ エディタの方々は、複数のビデオ ストリームの編集中に最適な再生性能を達成するために RAID 0 をご使用いただけます。 RAID 0 アレイは、ファイルでアクティブな作業を行う場合 (たとえばビデオの編集など) に特に適しており、単一のストレージ バックアップ ソリューションや不可欠なシステムなどでの使用には適しません。

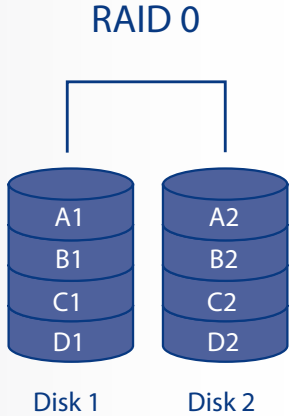


図 15

5.2. SAFE (RAID 1)

SAFE モード (RAID 1 とも呼ばれます) は、最低 2 台のディスクが必要とされる安全な RAID モードであり、一対のディスクで動作します (図 16)。 1 つの論理ボリュームがコンピュータにマウントされ、双方のディスクの合計利用可能容量は、一番容量の低いディスクの容量に限定されます。1 つの物理ディスクに障害が発生しても、データをもう片方のディスクですぐに使用できます。1 台のディスクが故障しても、データの損失はありません。

用途

RAID 1 は、1 台のディスクが故障した場合に最高のデータ安全性を提供しますが、データが 2 回書き込まれるため、書き込み時の性能は少し下がります。RAID 1 は、データの安全性がスピードよりも重要な場合に向いています。

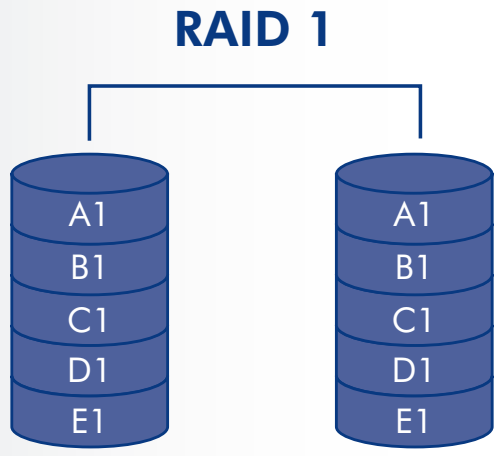


図 16

5.3. RAID モードの変更

LaCie hard disk MAX の RAID モードを変更する前に、ディスクの RAID モードを理解するようにしてください。「5. RAID」を参照してください。

注意：Changing configuration modes destroys data stored on the hard disk MAX. Back up data before following these steps. RAID モードを変更する前に、必ずユーザー マニュアルをコンピュータにコピーしてください。ユーザー マニュアルを何らかの理由で紛失した場合は、次の LaCie Web サイトからダウンロードできます。www.lacie.jp/support/index.html

注意：構成を変更する前に、ディスクを正しく LaCie hard disk MAX に挿入する必要があります。できる限り内部のディスクに触れないようにすることをお勧めします。

RAID モードを変更するには、次の手順に従います。

1. 安全に容積をあなたのコンピュータから取除き、それを消しなさい。 ディスクがそれらに触れる前に冷却するように重要である。
2. スイッチの溝に小さいマイナス ドライバを挿入し、ドライバのハンドルを上下に動かして、異なるモードを選択します (図 17)。
3. LaCie hard disk MAX の電源を入れます。
4. ディスクを再フォーマットします (詳しくは、「3. フォーマットとパーティション (オプション)」を参照してください)。

重要な情報：ストレージ ポリシー構成の変更後、ディスクドライブのパーティションを行う必要があります。「3. フォーマットとパーティション (オプション)」を参照してください。

注意：LaCie hard disk MAX は、あらかじめ FAST (RAID 0) モードで構成されています。FAST モードでは、ストレージ容量すべてにアクセスできますが、セキュリティは一切提供しません。1 台のディスクが故障すると、すべてのデータが損失します。データのセキュリティについて懸念がある場合は、SAFE (RAID 1) に設定することを強くお勧めします。「5. RAID」を参照してください。

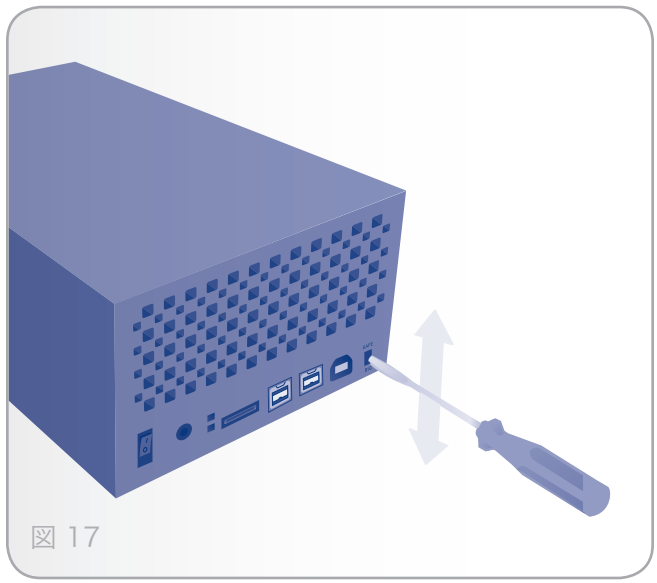


図 17

5.4. ディスクのパーティション

LaCie hard disk MAX の構成モード (SAFE または FAST) を変更したら、ディスクのパーティションを行う必要があります。このプロセスによってディスクがフォーマットされます。ファイル システム フォーマットについて詳しくは、「3. フォーマットとパーティション (オプション)」を参照してください。

重要な情報：LaCie hard disk MAX に付属しているディスクは、HFS+ でフォーマットされています。ディスクを Mac オペレーティング システムで使用する場合、あるいは Mac と PC のクロスプラットフォームで使用する場合は、ディスクを再フォーマットする必要があります。詳しくは、「3. フォーマットとパーティション (オプション)」を参照してください。

5.4.1. Windows をご使用の方

これは、LaCie hard disk MAX の容量を最適化する FAST ストレージ ポリシーの例です。

1. デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、ポップアップ ウィンドウから [管理] を選択します (図 18)。
2. [記憶域] の下にある [ディスクの管理] を選択し、Windows ディスク マネージャを開きます (図 19)。

次のページに続く

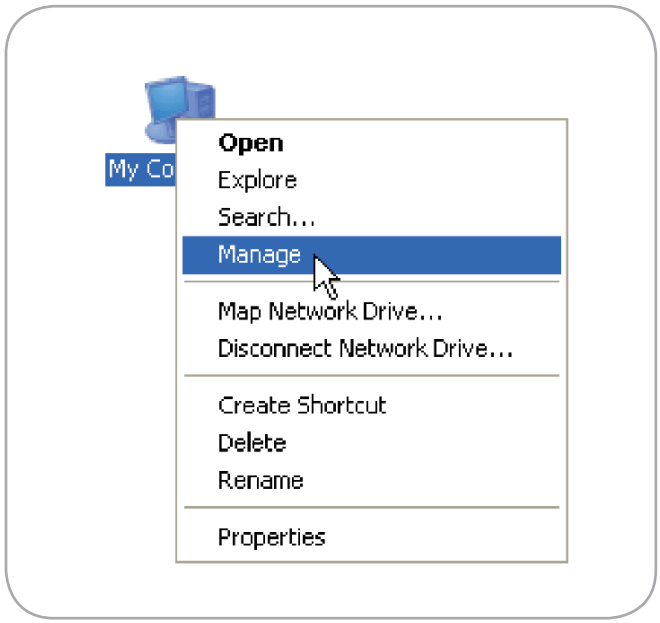


図 18

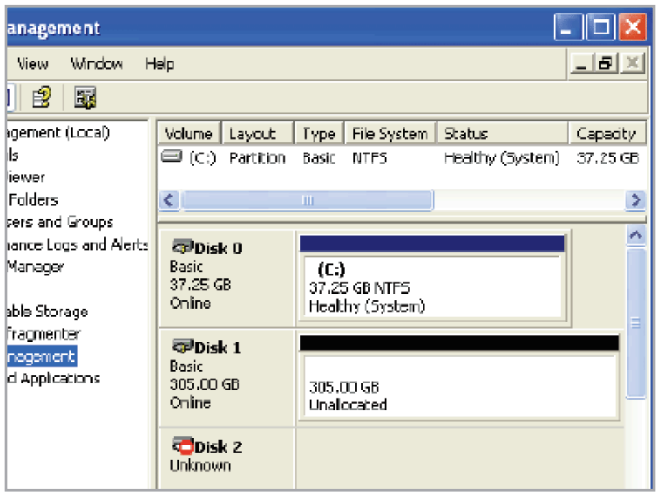


図 19

3. 構成したディスクの未割当領域を右クリックし、[新しいパーティション] をクリックします。[新しいパーティション] オプションが使用できない場合は、最初にディスクを選択して初期化します (図 20)。

技術面での注意： RAID 1 アレイのディスク取り付けには 60 秒以上かかることがあります。初期化中は背面と正面の LED が数秒間赤になり、プロセスが完了すると青に変化します。

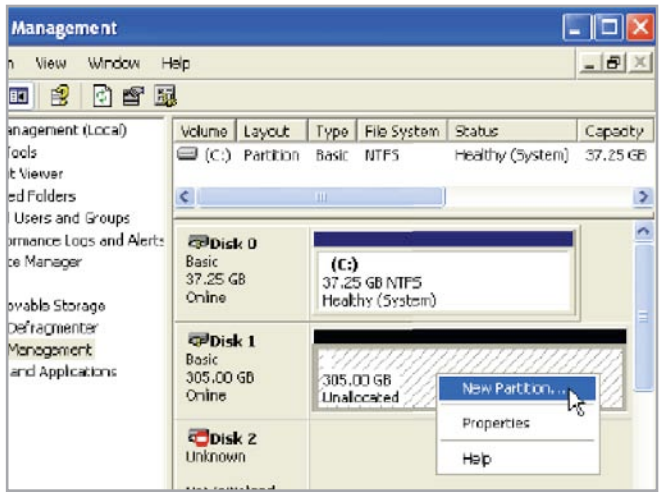


図 20

4. [次へ] をクリックして、パーティション ウィザードを起動します (図 21)。

図 21

5. [プライマリ] または [拡張] オプションを選択し、[次へ] をクリックします (図 22)。

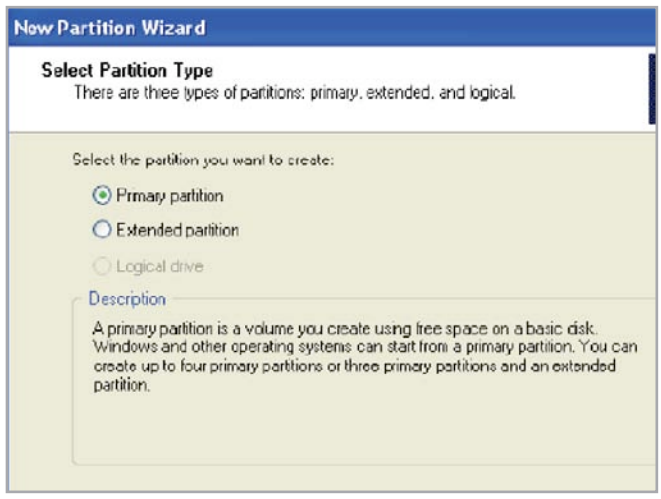


図 22

6. パーティションのサイズを指定します。デフォルトでは、パーティションが全ボリュームを占めます。[次へ]をクリックします (図 23)。

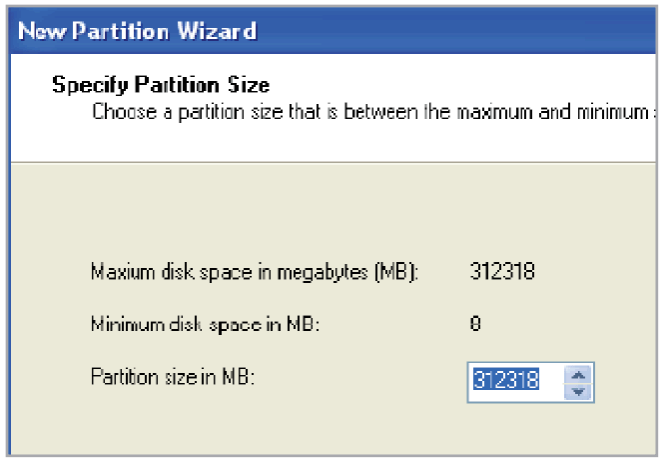


図 23

7. ドライブ文字またはマウント　パスを割り当て、[次へ]をクリックします (図 24).

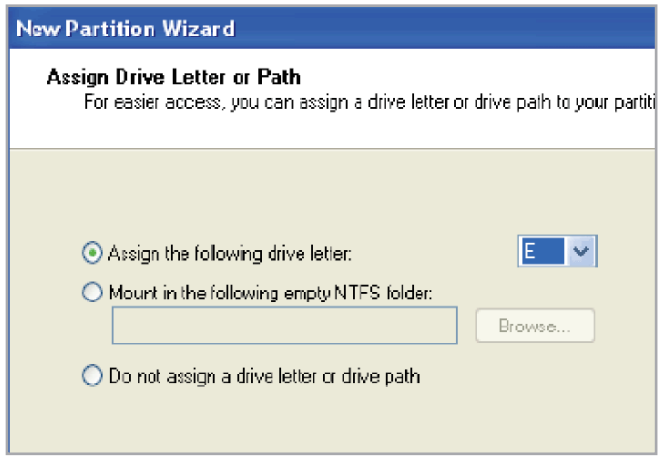


図 24

8. Name and format the partition and click Next (図 25)。

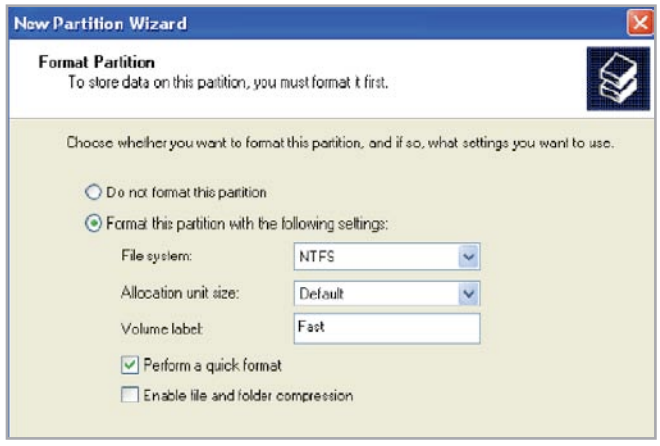


図 25

9. パーティションに名前を付け、フォーマットしたら、[次へ] をクリックします (図 26)。

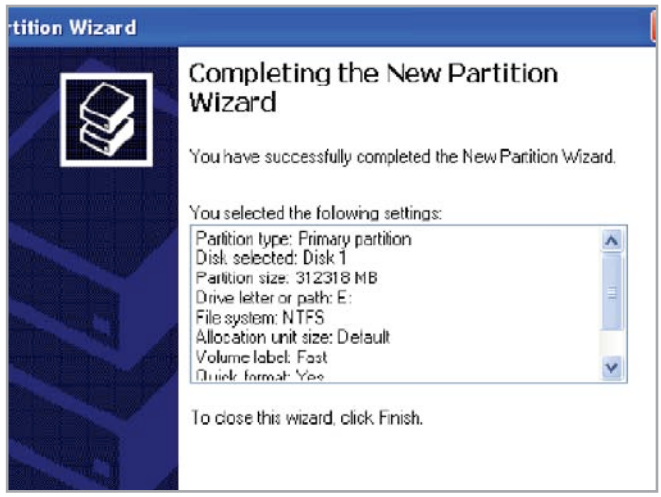


図 26

5.4.2. Mac をご使用の方

これは、LaCie hard disk MAX の容量を最適化する FAST RAID モードの例です。

1. [アプリケーション/ユーティリティ] フォルダから [ディスク ユーティリティ] を起動します (図 27)。
2. 構成したディスクを選択し、[パーティション] タブをクリックします (A, 図 28)。
3. [ボリュームの方式 :] ドロップダウン リストから[1 パーティション] を選択します (B, 図 28)。
4. ボリュームの名前を、[名前] フィールドに入力します (C, 図 28)。
5. [フォーマット] ドロップダウン リストから [Mac OS 拡張 (ジャーナリング)] を選択します (D, 図 28)。
6. パーティションのサイズを、[サイズ] フィールドで指定します (E, 図 28)。

技術面での注意：パーティションのサイズは、複数のパーティションを作成した場合のみ変更できます。

7. [パーティション] ボタンをクリックします (F, 図 28)。
8. [パーティション] をクリックし、警告を確認します (図 29)。ディスク ユーティリティで作成したパーティションがマウントされ、デスクトップにそのアイコンが表示されます。アイコンにはパーティション名が表示されます。

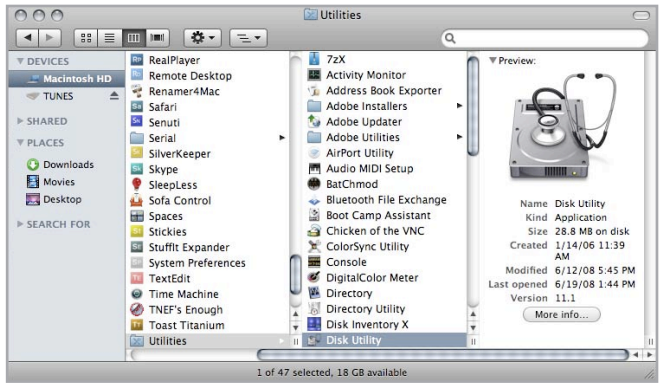


図 27

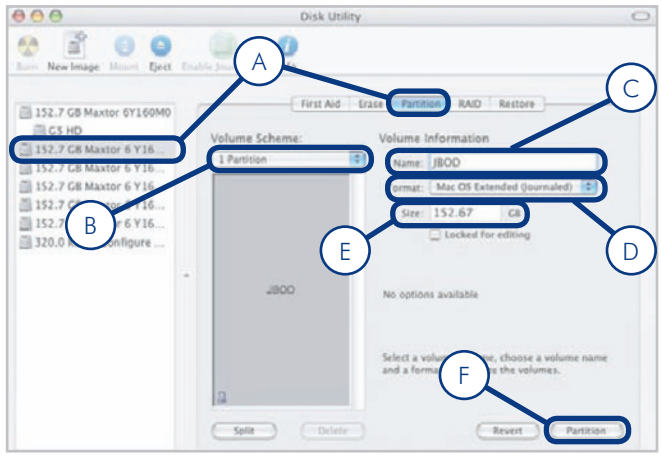


図 28

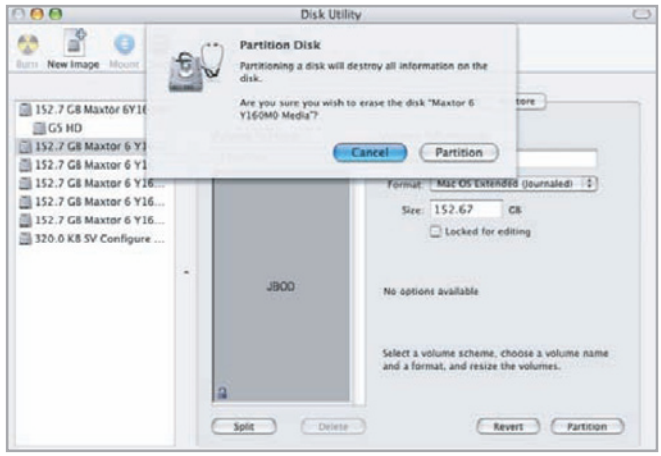


図 29

5.5. ディスクの取り外しと取り付け

LaCie hard disk MAX の個々のハード ディスクが故障した場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマー サポートにお問い合せください。保証期間内の場合は、製品をテクニカル サポートまでお送りください (7. カスタマ サポートへのお問い合わせ)。保証期間が切れている場合は、ケースを開き、新しいハード ディスクを取り付けることができます。

ハード　ディスクの取り外しと交換の手順については、以下を参照してください。

注意：LaCie hard disk MAX を継続して使用した場合、ディスクが熱くなることがあります。取り外しの際には、十分注意してください。

重要な注記：LaCie では、交換するディスクと同一容量および同一機種番号の新しいディスクをご使用になることをお勧めします。

ディスクを取り外すには、次の手順に従います。

1. どちらのディスクの LED が赤色になっているかを確認し、故障したディスクを判別します。
2. LaCie hard disk MAX の電源を切り、接続を解除します。
3. ケースを開き、故障したディスクを取り出します　(図 30)。

ディスクを取り付けるには、次の手順に従います。

1. LaCie hard disk MAX の電源を切り、接続を解除します。
2. ディスク トレイを注意しながら空のディスク ベイに挿入します (図 31)。

技術面での注意: データは、RAID 1 再構築中でもアクセスできます。MAX は再構築中に接続中のパソコンから接続解除できます。電源のみを接続しておく必要があります。このプロセスには、最長 9 時間かかることがあります。

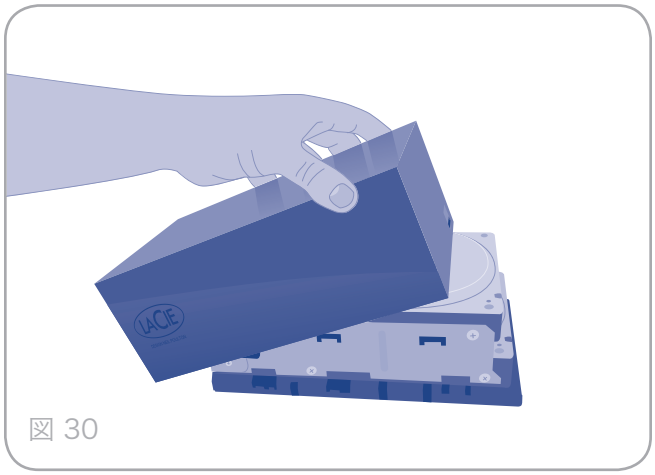


図 30

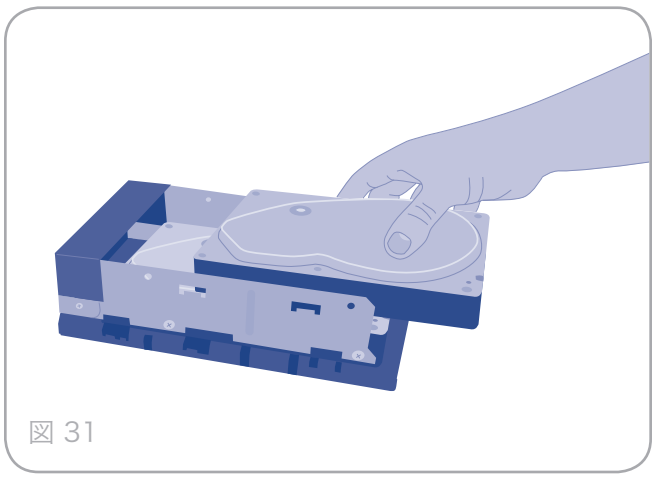


図 31

6. トラブルシューティング

LaCie hard disk MAX が正常に機能しない場合は、「6.4. ホスト接続のトラブルシューティング」を参照し、問題の原因について調べてください。それでもディスクが正しく動作しない場合は、当社 Web サイトに頻繁に公開されている FAQ を参照してください。 FAQ の中から質問の 回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページ もご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手 できます。

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「7. カスタマ サポートへのお問い合わせ」を参照) までご連絡ください。

6.1. マニュアルの更新

LaCie では、市場で最も新しく包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう常に心がけています。

新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。ご購入いただいた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧いただき、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.jp

6.2. ファン

LaCie hard disk MAX のシステム ファンは、一定温度になると起動し、連続駆動しないようになっています。ファンが駆動していない場合は、電源接続が有効になっており、LaCie hard disk MAX がオンになっていることを確認してください。継続使用後にファンが起動しない場合は、LaCie 販売店までご連絡ください。

6.3. LED インジケータ

LaCie hard disk MAX には、3 つの LED インジケータがあります。1 つはディスクの正面にある薄青色のストリップで、2 つは背面にあります (各ディスクにつき 1 個)。これは、LaCie hard disk MAX の現在の状況や問題などを示します。

通常の使用：

- ディスクのマウント中、速い点滅が始まる前に初めて電源を入れると、正面の LED がゆっくりと点滅します。
- ドライブの使用準備が整うと、正面の LED ストリップが青色で点灯します。
- 正面の LED が点滅し、HDD のアクセスを示します。
- ドライブが正常に動作しているときは、背面の LED は消灯状態になります。

正面の LED ストリップが赤色になった場合：

- ディスクが故障している可能性があります。背面のディスク LED をご覧ください。いずれかのディスク LED が赤色になってる場合は、LaCie カスタマ サポートまでご連絡ください (「7. カスタマ サポートへのお問い合わせ」)。

RAID 1 (SAFE) の再構築中:

- RAID 1 再構築中には、正面の LED が青色に点滅します。ディスクの容量に応じて、これには数時間かかる場合があります。
- 交換しているドライブの背面の LED は赤色で点滅します。

6.4. ホスト接続のトラブルシューティング

問題	確認事項
インタフェース を接続しても LaCie hard disk MAX が認識されない。	システム LED のステータスを調べ、電源が入っているか確かめます。
	HBA BIOS が空の LaCie hard disk MAX を認識するかどうかを調べます。
	ホストの BIOS で、PCI バスパワー節電モードをオフにします。
	インタフェース 接続を調べ、別の インタフェース ケーブルで再試行してください。
	異なる インタフェース ポートに接続します。
オペレーティング システムが、LaCie 仮想ドライブを認識しない。	HBA BIOS が空の LaCie hard disk MAX を認識するかどうかを調べます。
	動作モードを再構築する前に、オペレーティング システムのディスク マネージャを使って、ボリュームにあるパーティションを削除します。
	HBA ドライバが最新のものであるかどうか確かめます。
	ドライバのトラブルシューティング ☒ ドライバのアクティブ ステータスを確かめます。Windows の場合は、正常の場合はデバイス マネージャで HBA の隣に SCSI アイコンを表示します。Mac OS X の場合は、ディスク ユーティリティで、物理ハード ディスク ドライブにある仮想ディスクの SCSI 接続 ID が表示されます。問題があると、ドライバのインストール中にエラー メッセージが表示されます。 ☒ リソース競合を解決します (IRQ、DMA または I/O)。
	Port Multiplier (PM) が HBA でサポートされていることを確認します。

7. カスタマ サポートへのお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと 取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー　テクニカルサポートセンター
http://www.lacie.jp/support/index.html

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	**Mac をご使用の方：**メニューバーの Apple アイコンをクリックし、**[この Mac について]** を選択します。 **Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ]** を右クリックし、**[プロパティ] > [全般]** を選択します。
3. オペレーティング システムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および　外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	**Mac をご使用の方：**Finderメニューバーのアップル アイコンをクリックし、**[この Mac について]** を選択します。**[詳しい情報...]** を選択します。Apple システムプロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 **Windows をご使用の方： [マイ コンピュータ]** を右クリックし、**[プロパティ] > [ハードウェア]**

重要な情報: パッケージに同封されている「型番シール」は、本製品および保証書に貼りつけて大切に保管してください。「型番シール」のない製品につきましては、サービス・サポートのご提供ができません。また、「型番シール」の再発行はできませんので、紛失しないようご注意ください。

7.1. Lacie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア http://www.lacie.com/cn/contact/	LaCie オーストラリア http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー http://www.lacie.com/be/contact/ (オランダ語) http://www.lacie.com/befr/contact/ (フランス語)	LaCie ブラジル http://www.lacie.com/us/contact/
LaCie カナダ http://www.lacie.com/ca/contact/ (英語) http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie デンマーク http://www.lacie.com/dk/contact/
LaCie フィンランド http://www.lacie.com/fi/contact/	LaCie フランス http://www.lacie.com/fr/contact/
LaCie ドイツ http://www.lacie.com/de/contact/	LaCie アイルランド http://www.lacie.com/ie/contact/
LaCie イタリア http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 韓国 http://www.lacie.com/kr/contact/
LaCie 中南米 http://www.lacie.com/la/contact/	LaCie オランダ http://www.lacie.com/nl/contact/
LaCie ノルウェー http://www.lacie.com/no/contact/	LaCie ポルトガル http://www.lacie.com/pt/contact/
LaCie シンガポール http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie 東南アジア http://www.lacie.com/sea/contact/
LaCie スペイン http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン http://www.lacie.com/se/contact/
LaCie スイス http://www.lacie.com/ch/contact/ (ドイツ語) http://www.lacie.com/chfr/contact/ (フランス語) http://www.lacie.com/chit/contact/ (イタリア語)	LaCie 英国 http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アメリカ合衆国 http://www.lacie.com/us/contact/ (英語) http://www.lacie.com/uses/contact/ (スペイン語)	LaCie グランド エキスポート http://www.lacie.com/intl/contact/

8. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、

   無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
   (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
   (4) 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
   (10) 製品に添付している型番シールを本製品に貼っていない場合。
   (11) 本製品を日本国外でご購入された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失 については一切の責任を負いかねます。
5. 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 故障とは、本製品が本製品の仕様に定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

■免責事項

9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがありますが、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

重要な情報: 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください

サポートURL
http://www.lacie.jp/support/index.html